

氏名： 佐治 由美子 (SAJI Yumiko)
所属： 教育事業部 (幼・保の発達を見通したカリキュラム開発)
学位： 修士 (家政学、お茶の水女子大学、1982)
職名： 講師
専門分野： 保育学
E-mail： saji.yumiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

育つということ／実践研究／保育者養成
Growth in Infancy and Adult / Study in the Field of Child Care and Education /
Students Training for Child Care and Education

◆主要業績

- ・ 浜口順子・佐治由美子・塩崎美穂・菊地知子
保育を「見る」目を育てる—お茶の水女子大学「幼保プロジェクト」による保育現場と大学との協働的カリキュラム開発研究報告(2)—
お茶の水女子大学 人文科学研究第4巻、pp.169-181
- ・ 佐治由美子・浜口順子・刑部育子(2007) 保育者の資質向上をめざした保育現場と大学の共同研究(2)—
実習レポートの分析を通して学生の子ども・保育理解を探る—
日本保育学会第60回大会発表論文集、pp.792-793
- ・ 佐治由美子(2007) お茶の水女子大学「幼・保・大」連携研究の試み(10)
『記録を読む会』レポート—保育所と大学の協働の場として— 幼児の教育 vol.107(10)、フレーベル館、
pp.58-63
- ・ 佐治由美子(2008) 子どもに寄り添うということ 児童教育 vol.18、お茶の水女子大学附属小学校・NPO
法人お茶の水児童教育研究会、pp.19-20

◆研究内容 / Research Pursuits

2007年度は、「幼保の発達を見通したカリキュラム開発(幼保プロジェクト)」の二年次(特別教育研究経費研究として4ヵ年計画)であった。

- ・ 大学と附属幼稚園・附属保育所(いずみナーサリー)の協働によるカリキュラム開発研究として、学部の授業「保育臨床実習」における成果を明らかにした。
- ・ 附属保育所(いずみナーサリー)の保育主任を兼任として務め、大学と保育所が安定的に繋がる道を実践的に探究した。

◆メッセージ

お茶の水女子大学には、その敷地内に、日本最古の幼稚園といわれる「附属幼稚園」と、国立大学で初めての附属校としての保育所「いずみナーサリー」が並んで設置されています。大学キャンパスに、0歳代～60歳代までの人たちが日々学び生活する場が保障されているのです。若い皆さんの学びが生涯発達のこの大きな流れの中に位置付いていることを目の当たりにし、また、そのフィールドを研究の場として生かし用いていくことが赦されていることは、大変に恵まれていることなのです。学生が少数であるからこそ与えられるきめ細かな指導の下で、本学だからこそ可能な研究を是非展開していただきたいと思います。